

平成30年度に向けた病院局の施策の基本方針

『徳島県病院事業経営計画～安心医療・とくしまを支える新県立病院プラン～』に基づく取組を着実に推進

病院事業ネクストステージへの挑戦

海部病院の新築移転により、県立3病院の改築事業が完了

総合メディカルゾーン

西部センター



三好病院

「フルセットのがん医療」など
四国中央部の拠点機能の整備

本部



中央病院・徳大病院

先端医療機器の導入による
高度医療拠点機能の整備

南部センター



海部病院

ツインヘリポートをはじめ
とした災害拠点機能の整備大幅な機能強化を
県民に最大限還元

連携



鳴門病院

地域に求められる医療機能の充実に向け、
人材育成・地域連携などソフト対策を強化

医療人材の確保・育成

- ▶ 地域枠医師の受入体制の整備
- ▶ 若手医師への教育環境の充実
- ▶ 認定看護師などの計画的な養成
- ▶ 病院間の積極的な交流促進

地域医療機関との連携促進

- ▶ 新総合情報システムの稼働
- ▶ 中央病院と徳大病院の駐車場の一体利用
- ▶ 海部・那賀モデルの推進
- ▶ 県西部公立3病院の連携強化

経営財政基盤の強化

- ▶ H30年度診療報酬・介護報酬同時改定への迅速・的確な対応
- ▶ 物品の一括調達をはじめ、経費削減の強化と効率化の推進